

第34回コープあおもり通常総代会を開催しました。



2026年6月10日(水)、ホテル青森(青森市)でコープあおもりの「第34回通常総代会」を開催しました。

議事では、奥崎専務理事より第1号議案から第5号議案まで議案書に基づく提案説明が行われ、特定監事の品川公志さんから、監査報告が行われました。質疑・答弁では、総代3名から8項目の発言があり、理事会より答弁が行われました(次ページに掲載)。総代定数500名に対し、498名(実出席207名、委任出席7名、書面議決284名)が出席し、2025年度事業報告・決算報告・2026年度事業計画・収支予算など、4議案すべてが賛成多数で可決・承認されました。

2026年度全体方針

5つの柱

- 1 組合員の声に応える活動を進めます。
- 2 商品と事業を通して、暮らしのお役立ちに務めます。
- 3 安心して暮らし続けられる地域社会づくりに貢献します。
- 4 生協で働く誰もが活き活きと働ける職場づくりを進めます。
- 5 利用者を増やし、利用高を増加させます。



第34回
通常総代会を終えて
理事長 菅原正



・事業計画・予算の決定…前年度の事業報告や決算の承認、次年度の事業計画や予算を決定します。

・役員の選出…理事や監事など、生協を運営する役員を選出します。

・その他重要事項の決定…定款の変更やその他生協運営に関する重要事項を決定します。

総代会で決定する主な内容は以下のようになります。

生協の総代会とは、組合員の代表である総代が集まり、生協の運営に関する重要事項を決定する会議のことです。株式会社という株主総会のような位置づけで、生協の最高意思決定機関とされています。今年度も新卒で入協した職員5名と内部登用職員7名、中途採用職員2名が研修の一環で傍聴させていただきました。

6月10日(水)、ホテル青森において第34回通常総代会が開催されました。総代定数500名に対し、総代の実出席者は207名(前年度171名)、委任状での出席7名(前年度28名)、書面での出席284名(前年度297名)、計498名(前年度496名)の出席で総代会が成立しました。2025年度と比較し総代の実出席者は36名増加しました。昨年度の弘前地域に加え、今年度は八戸地域・五所川原地域においてもバス送迎を実施したことで参加者が増えました。

今総代会には第1号議案「2025年度活動報告・事業報告承認の件」、第2号議案「2025年度決算関係書類承認の件」、第3号議案「2026年度活動方針・事業計画及び予算決定の件」、第4号議案「役員報酬決定の件」の4つの議案を奥崎専務理事が提案しました。また、品川特定監事より監査報告書に沿って監査報告がされました。議案提案後、事前発言を通告されていた総代3名(内2名の総代は当日追加で意見・質問がありました)の意見・質問について応答後に採決が行われ、第1号から第4号までの全ての議案が賛成多数で可決・承認されました。

今後、今総代会で確認された「2026年度全体方針5つの柱」に沿って、役員が力を合わせて組合員の皆さま・お取引様・行政・諸団体の皆さまとともに協同・連携して、事業・社会的活動をすすめてまいります。事業においては、中東情勢が不透明で物価高騰や競合環境が厳しさを増していく中、組合員のくらしにより貢献することをめざして、利用者を増やし供給高は2025年度より伸長する予算としています。一方、事業経費の増加から経常剰余金は前年度実績より少ない予算としています。社会的活動においては、高齢者等見守り活動、コープフードバンクやこども宅食おすそわけ便への食料・雑貨品の提供、「はじめてばこ」のお届け、フードサポートやサニタリードライプ等に引き続き取り組んでまいります。また、昨年の被爆・戦後80年を契機とし、81年目となる今年度も平和の取り組みに尽力してまいります。

「コープあおもりの基本理念」実現のために、組合員の声を大切にし、くらしに寄り添い、くらしの願いを実現できるよう、これからも頑張ります。